ODELIC

オーデリック株式会社
第80期（2019年3月期）決算説明資料

オーデリック株式会社
https://www.odelic.co.jp
JASDAQ
6889

目次

ODELIC

１．市場環境と2019年３月期連結業績

２．当期における取り組みと実績

３．今後の取り組み

４．2020年３月期　通期業績予想

５．資料

ODELIC

1-1. 市場環境推移

1-2. 連結業績推移

1-3. 事業成績

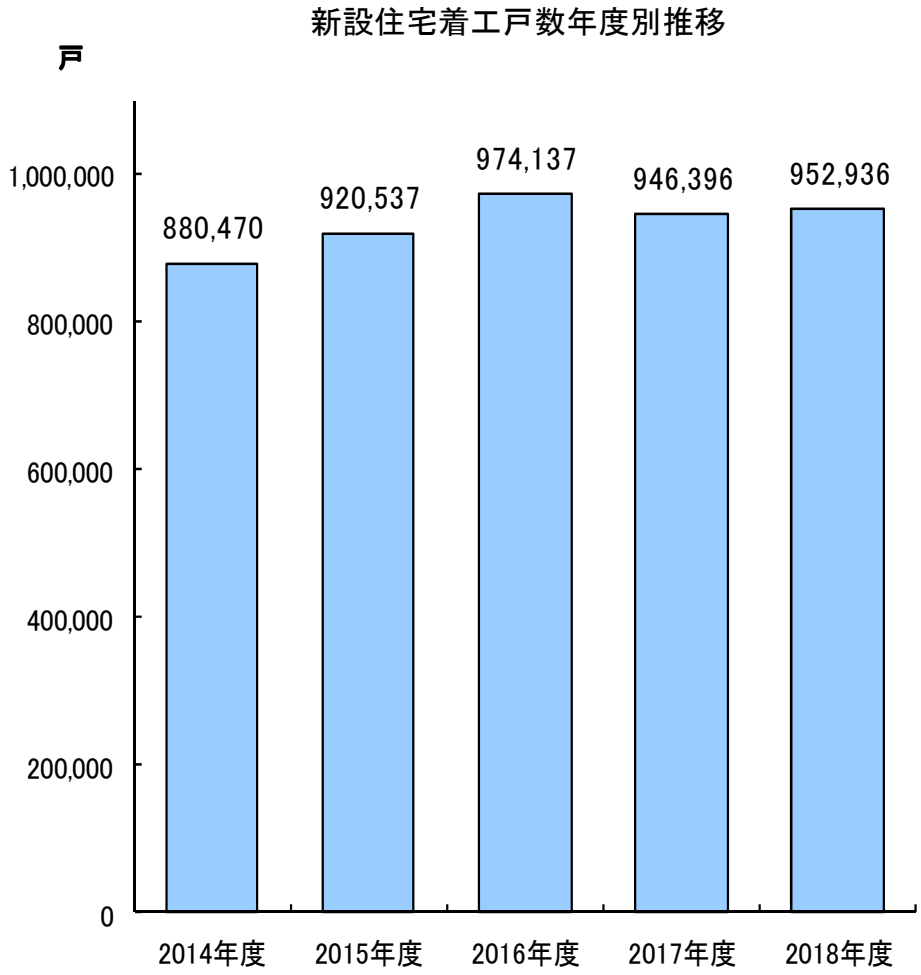
1-4. 営業利益増減分析

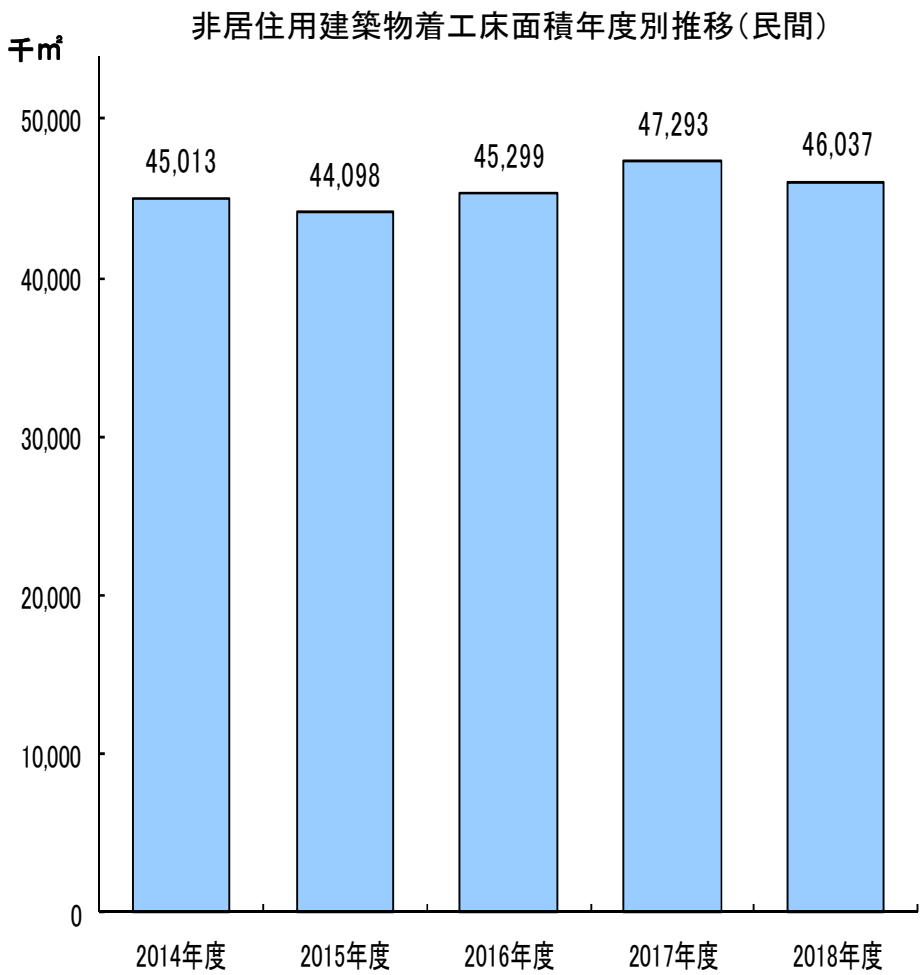
1-5. 資産・負債の増減

1-6. キャッシュ・フロー

1-1. 市場環境推移

ODELIC

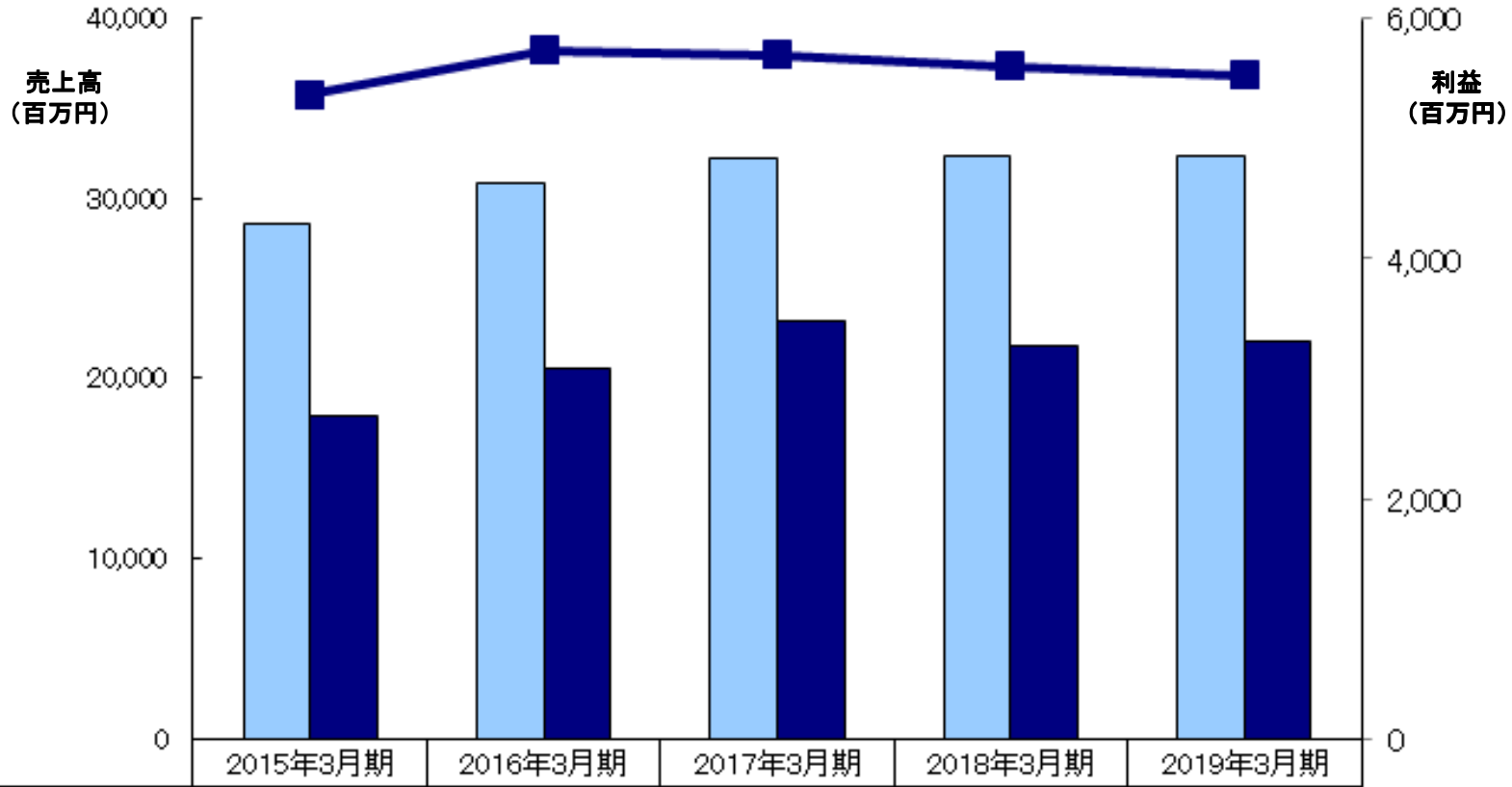




○新設住宅着工戸数は、952,936戸
・前期比　0.7%増、持家着工戸数は前期比2.0%増
○非居住用建築物着工床面積は、46,037千㎡
・前期比　2.7%減、倉庫：11.7%減、工場：9.0%増

1-2. 連結業績推移

ODELIC



	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
売上高	35,768	38,204	37,951	37,358	36,831
営業利益	4,288	4,618	4,837	4,861	4,861
親会社株主に帰属する当期純利益	2,683	3,081	3,485	3,279	3,310

○売上高：36,831百万円　前年同期比1.4%減
○営業利益：4,861百万円　前年同期比0.0%減
○親会社株主に帰属する当期純利益：3,310百万円　前年同期比1.0%増

1-3. 事業成績

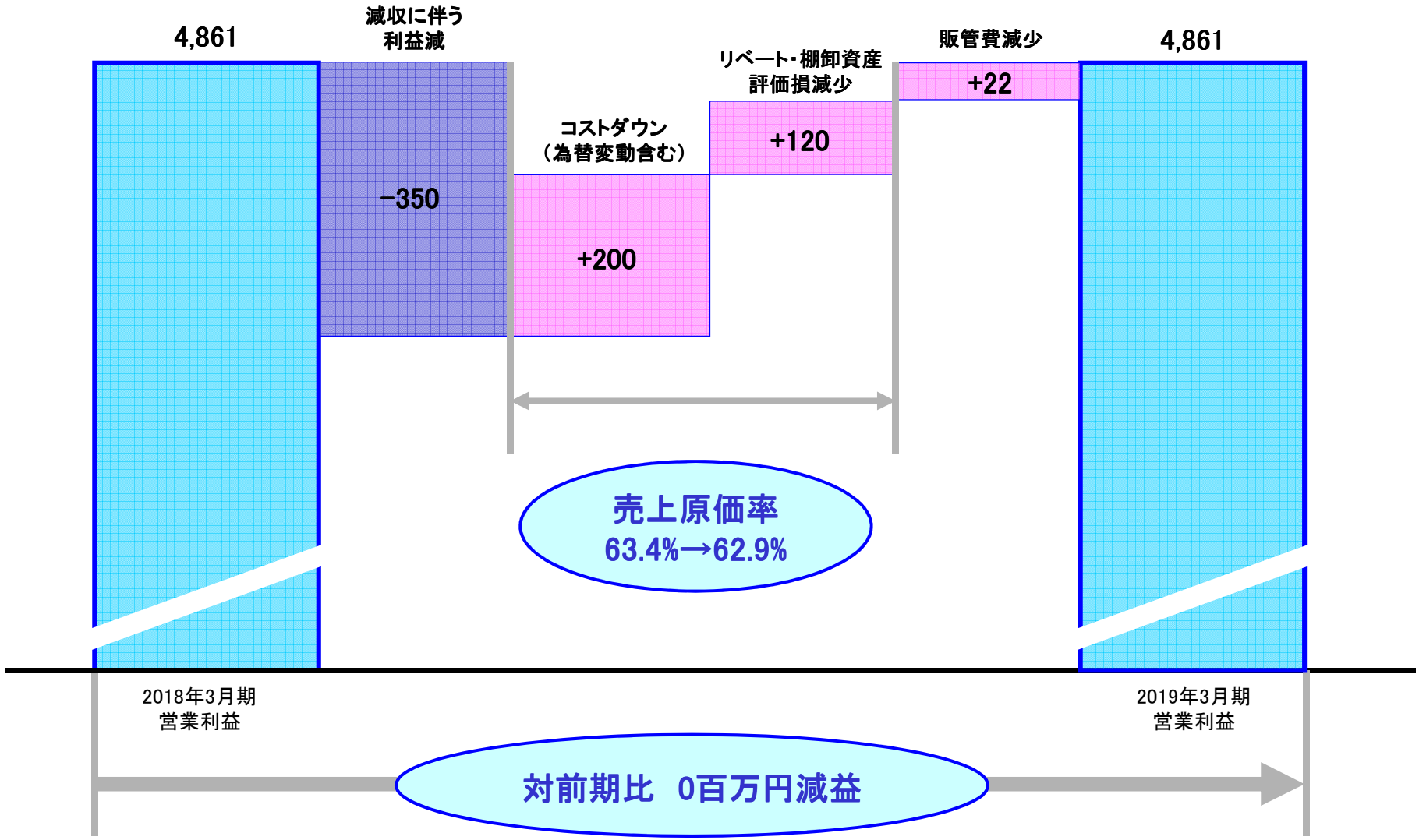
ODELIC

（単位：百万円）	2019年3月期(当期)			2018年3月期(前期)			前期比増減		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	17,433	19,398	36,831	17,556	19,802	37,358	△ 123	△ 404	△ 527
売上高前期比	99.3%	98.0%	98.6%	97.5%	99.2%	98.4%			△1.4%
売上原価	10,930	12,243	23,173	11,039	12,639	23,678	△ 109	△ 395	△ 505
売上総利益	6,502	7,154	13,657	6,516	7,163	13,680	△ 13	△ 8	△ 22
売上総利益率	37.3%	36.9%	37.1%	37.1%	36.2%	36.6%			0.5%
営業利益	2,198	2,663	4,861	2,133	2,728	4,861	64	△ 64	△ 0
経常利益	2,193	2,716	4,909	2,173	2,779	4,952	19	△ 62	△ 42
親会社株主に帰属する当期純利益	1,486	1,824	3,310	1,445	1,834	3,279	41	△ 9	31

1-4. 営業利益増減分析

ODELIC

（単位：百万円）



1-5. 資産・負債の増減

ODELIC

（単位：百万円）	2019年 3月期	2018年 3月期	前期比増減
流　動　資　産	29,101	28,076	1,025
固　定　資　産	12,681	11,316	1,365
有形固定資産	6,283	6,327	△ 44
無形固定資産	1,142	1,155	△ 13
投資その他の資産	5,256	3,833	1,422
資　産　合　計	41,783	39,393	2,390
流　動　負　債	6,995	6,859	135
固　定　負　債	2,185	2,206	△ 21
負　債　合　計	9,180	9,065	114
純 資 産 合 計	32,603	30,327	2,275
負債純資産　合計	41,783	39,393	2,390

主な増減

（資産）
・現金及び預金増加：1,055
・棚卸資産増加：268

（負債）
・仕入債務増加：345

（純資産）
・親会社株主に帰属する
当期純利益増加：3,310
・剰余金の配当による減少：963

1-6. キャッシュ・フロー

ODELIC

（単位：百万円）	2019年 3月期	2018年 3月期	前期比 増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,236	4,256	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,712	△1,318	△ 1,394
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 968	△ 850	△ 117
現金及び現金同等物の増減額	555	2,087	△ 1,532
現金及び現金同等物の期首残高	12,374	10,286	2,087
現金及び現金同等物の期末残高	12,930	12,374	555

当期の主な内訳

（営業活動によるキャッシュ・フロー）
・売上債権減少：300
・仕入債務増加：345
・棚卸資産増加：268

（投資活動によるキャッシュ・フロー）
・定期預金の預入による支出：3,000
・定期預金の払戻による収入：1,000
・有形固定資産の取得による支出：700

（財務活動によるキャッシュ・フロー）
・配当金支払：964

ODELIC

２−１．主な製品別の取り組みと実績（コネクテッドライティング）

２−２．主な製品別の取り組みと実績（住宅向け）

２−３．主な製品別の取り組みと実績（非住宅向け）

2-1. 主な製品別の取り組みと実績(コネクテッドライティング)

ODELIC

無線でつながる照明コントロールシステム「コネクテッドライティング」のラインナップを拡充。
→ 売上計画年間10億円に対し12億円を超え、計画を達成。

住宅向けのデザインシリーズ、ベースライトやスポットライトなどの店舗・施設向け新製品に加え、調光・調色を簡単にコントロールできるリモコンを発売。

2019年1月には専用カタログの第一弾となる「CONNECTED LIGHTING vol.1」カタログを発刊し、拡販に取り組んだ。

2-2. 主な製品別の取り組みと実績（住宅向け）

ODELIC

新設住宅着工戸数は下半期以降前年実績を上回る推移となったものの、居室用シーリングライトの低価格化が続き、住宅向け製品の売上高は前期比3.5%減少。

住宅用ダウンライト

フラット形LED電球ダウンライト新製品の販売増や機能追加新製品の投入で、売上は前期比6%増加

フラット形LED電球ダウンライトの拡販に注力

・販売が堅調な住宅用ダウンライトについては、当期において光色切替調光ダウンライト（光色メモリー機能付き）の拡充など、ラインナップをさらに強化した。

・交換可能なフラット形LED電球版ダウンライトに注力、専用パンフレットを発刊（2018年6月）するなど、拡販に取り組んだ。

シーリングライト

居室用シーリングライトの販売平均単価は当期も引き続き下落し、売上は前期比9%減少

薄型のシーリングライト「フラットプレート」が人気を獲得

・器具高45mmという薄型形状にして、導光板によりムラのない均一な面発光を実現した「フラットプレート」シリーズシーリングライトが支持を受け、好調な販売となった。

2-3. 主な製品別の取り組みと実績(非住宅向け)

ODELIC

店舗・商業施設を中心とする非住宅分野向けには新製品投入とともに新規顧客開拓や重点製品の販売増加に向けた管理を強化、非住宅向け売上高は前年同期比2.5%増加。

間 接 照 明

ラインナップ充実と積極的な提案営業活動により、売上は前期比21%増加

テープライトなど新シリーズ投入とリニューアルを実施

・防雨防湿型　曲線対応タイプを6月より発売するとともに、11月よりハイパワーなフレキシブルテープライト(屋内・屋外兼用)を発売。

・ハイパワースリムタイプ、スリムタイプをリニューアル。

・8月には「間接照明カタログ vol.2.5」を発刊。

高天井用器具・投光器

省エネと耐久性に優れた新製品も投入し、物件受注に努めた結果、売上は前期比12%増加

屋内外の過酷な環境下でも使用可能な新製品を発売

・工場、倉庫等の大空間を省エネ化するラインナップとして、高い耐久性を誇る水銀灯700Wクラスの新製品を6月から発売。

・耐腐食性に強いボディ構造に加え、60℃の環境下でも光源寿命4万時間を確保。

ODELIC

3-1. コネクテッドプラスの展開

3-1-1. SMART SPEAKER CONTROL

3-1-2. Bluetooth SENSOR

3-1-3. MOTOR DRIVEN SPOT LIGHT

3-1-4. ZERO ENERGY CONTROL

3-2. 山田照明とのシナジー創出

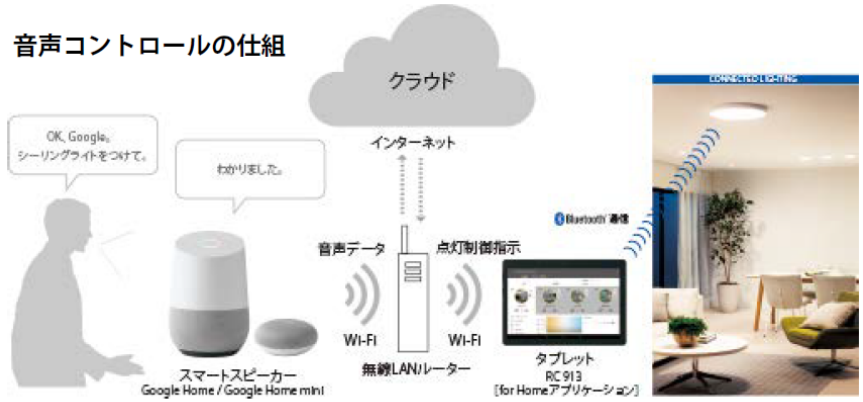
3-1．コネクテッドプラス

ODELIC

3-1-1. SMART SPEAKER CONTROL

ODELIC

スマートスピーカーと連携し、
音声であかりの
コントロールが可能に。



3-1-2. Bluetooth SENSOR

ODELIC

便利な人感センサ機能が
配線工事なしで
好きなところで使用可能。

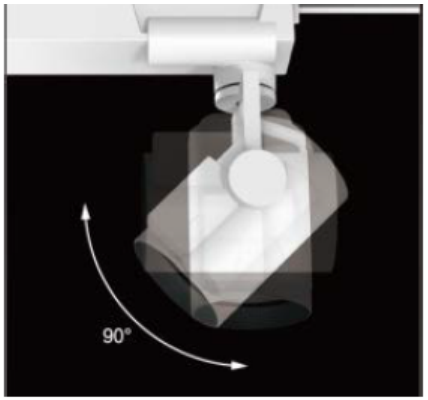
配線工事不要で、簡単にセンサ機能が追加可能

天井にも壁面にも配線工事なしで取付でき、感知エリア調整も可能

3-1-3. MOTOR DRIVEN SPOT LIGHT

ODELIC

照射方向もビーム角の可変も
手元で自在に
無線コントロール。

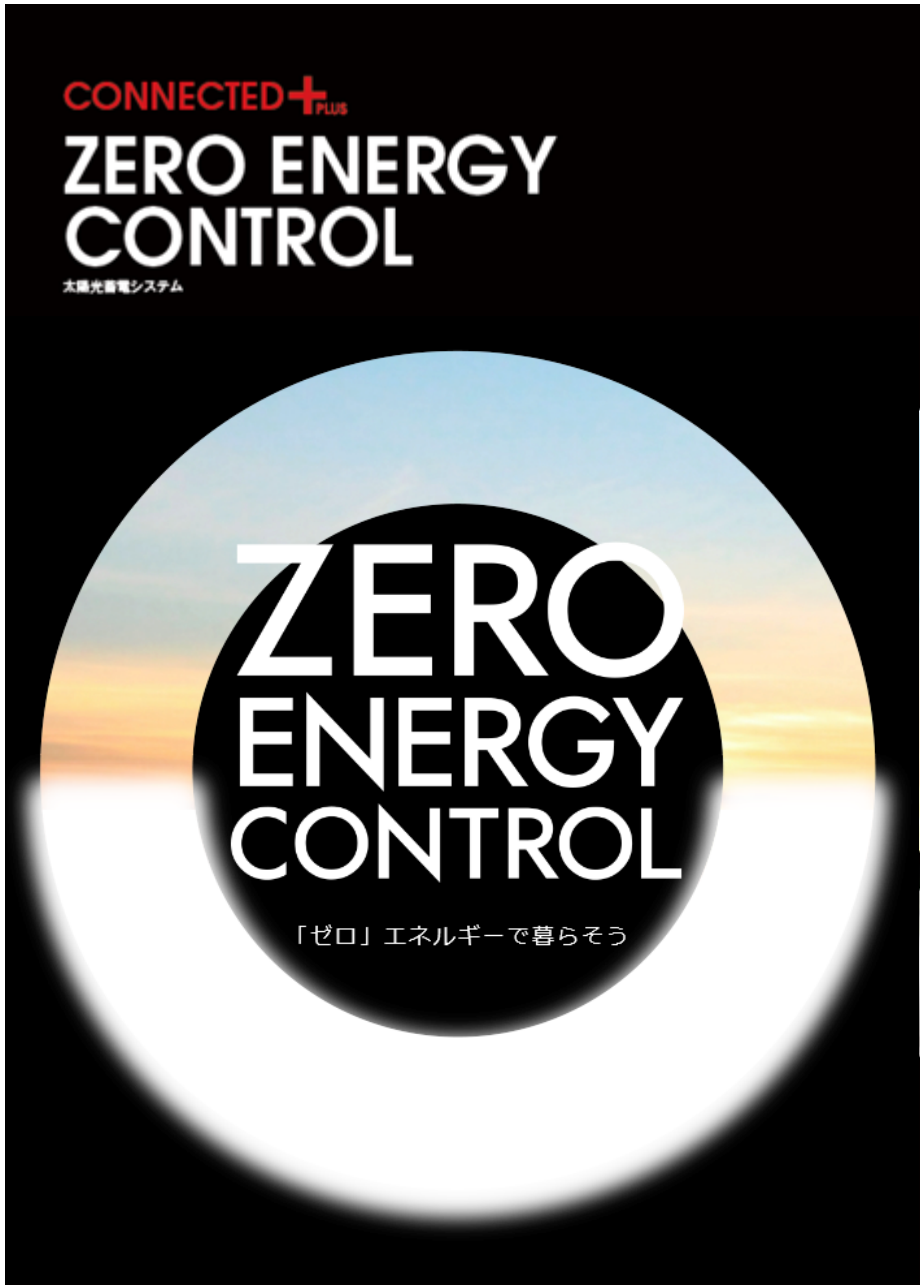


直下から真横まで90度可動

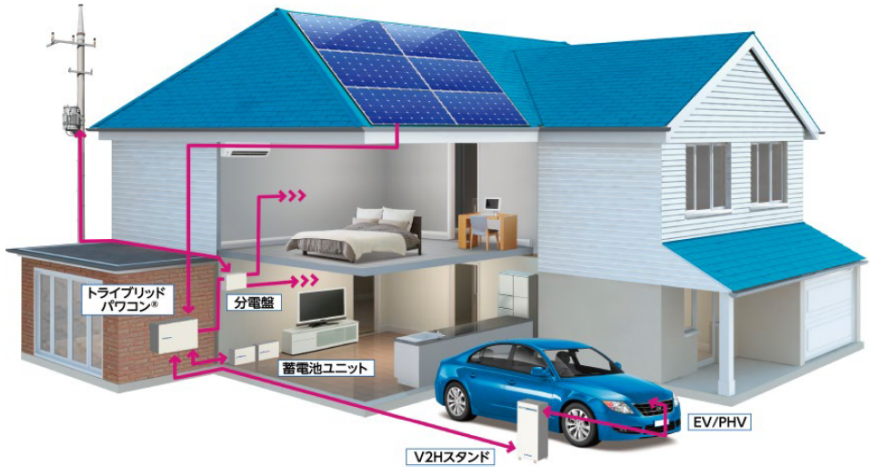
左右に360度回転

3-1-4. ZERO ENERGY CONTROL

ODELIC



ニチコン株式会社が展開する
「トライブリッド蓄電システム®」との
連携による太陽光発電システム発売。



3-2. 山田照明とのシナジー創出

ODELIC

株式会社サンゲツから山田照明の全株式を取得し、2019年4月5日をもって子会社化。
ホテル等施設向けに強みを持つ同社を迎え、非住宅分野向けを中心にさらなる事業拡大を図る。

◆企業概要

社　　名　山田照明株式会社

創　　業　1946年9月1日

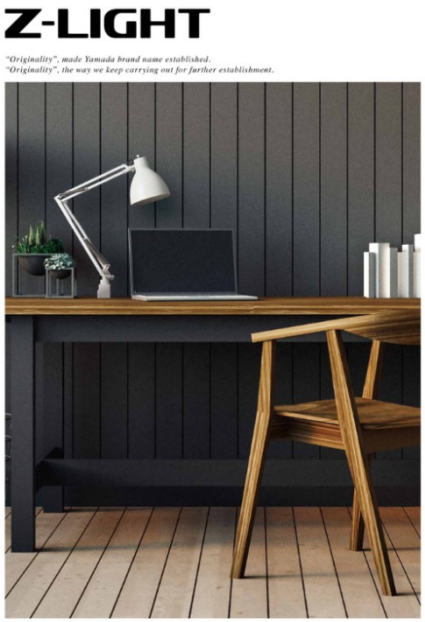
本社所在地　東京都千代田区外神田3丁目8番11号

営 業 種 目　照明器具の企画・設計・製造・販売

代　表　者　代表取締役社長　山 田 光 夫

・売上の7割以上がホテルを中心としたコントラクト市場向け

・アームライトの代名詞と言えるZ-LIGHT（ゼットライト）ブランドを持つ



◆業績推移

（単位：百万円）	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
売上高	4,022	4,145	4,239	3,663	4,227
営業利益	30	△128	23	△137	65

4-1. 2020年3月期 通期業績予想

4-1. 2020年3月期 通期業績予想

ODELIC

◆2019年3月期実績と2020年3月期業績予想

	2019年3月期 実　績	2020年3月期 予　想
売上高（百万円）	36,831	41,000
営業利益（百万円）	4,861	4,900
経常利益（百万円）	4,909	4,950
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	3,310	3,350
1株当たり 当期純利益（円）	549.62	556.11
年間配当金（円）	170.00	180.00
配当性向	30.9%	32.4%

2020年3月期業績予想の考え方

新設住宅着工戸数、特に当社グループが注目する持家の着工は、2018年10月以降、前年同月実績を上回っており、消費増税までは住宅向け照明器具出荷は増加すると期待されるが、下半期は反動減となり、通期では横ばいと計画。

店舗や商業施設など、非住宅分野については、引き続き顧客開拓を進めて売上増を計画するとともに、施設市場に強みを持つ山田照明の売上が加わることで、3割近い売上伸長を計画。

引き続きコストダウン推進で売上総利益率を引き上げる取り組みを行うが、非住宅向け売上比率の上昇で若干売上総利益率の低下を見込むとともに、山田照明の販管費加算等により、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益の増益幅は低く留まる見通し。

増益予想をもとに、株主配当金については、中間配当70円（前期70円）、期末配当110円（前期100円）、年間配当金は180円と前期比10円の増配とする計画。

5. 資料

ODELIC

・プロフィール

・株主状況

プロフィール

ODELIC

社名	オーデリック株式会社 （ ODELIC CO., LTD. ）
代表者	代表取締役社長　伊藤雅人
本店	東京都杉並区宮前1-17-5　03-3332-1111（代表）
設立	1951年6月
上場	1996年11月 （東京証券取引所 JASDAQ市場）
資本金	31億550万円
連結対象子会社	山形オーデリック（株）（生産、物流管理業務）
	（株）日本ライティング （販売）
	オーデリック貿易（株）（輸入、販売）
	アルモテクノス（株）（開発、生産）
	山田照明（株）（企画、設計、製造、販売）

株主状況

ODELIC

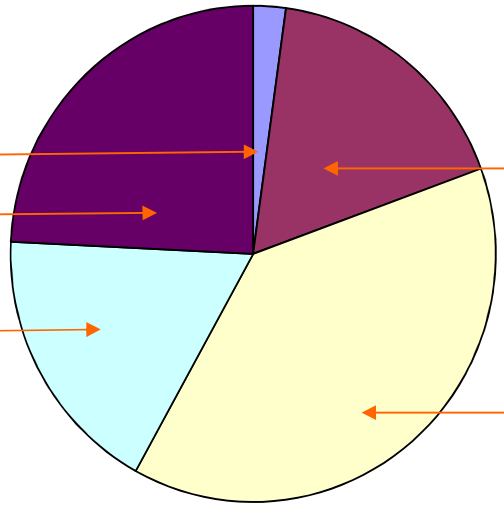
発行可能株式総数	28,941,000 株	（2019年3月31日現在）
発行済株式の総数	6,100,000 株	
株主数	3,868 名	
１単元株式数	100 株	

大株主

株主名	持株数（千株）	出資比率(%)
有限会社アマセクリエート	625	10.25%
オーティアイ株式会社	430	7.05%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	377	6.19%
オーデリック従業員持株会	205	3.36%
伊藤恵美子	165	2.72%
オーデリック取引先持株会	153	2.51%
伊藤雅人	150	2.47%
株式会社三井住友銀行	150	2.46%
株式会社みずほ銀行	150	2.46%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	146	2.40%

※当期末現在の当社所有の自己株式数は76,063株、構成比率1.25%

所有者別分布状況



当資料の取り扱い上の注意

当資料に記された当社の現在の計画、予想、戦略等は将来の業績に対する見通しであります。 これらは、現在において入手可能な情報を基にオーデリックの経営者が判断し、作成されたものです。新たな情報、将来の事象、その他の判断に基づき、将来の見通しを見直すことがあります。

本資料に関するお問い合わせ先　オーデリック株式会社
経営企画ゼネラルマネージャー　田中　豊
Tel　03-3332-1107
Fax　03-3332-1105